

民生福祉常任委員会会議記録（条例審査）

|  |   |
|--|---|
| 1. 日 時   | 平成30年 3月 2日 10時15分<br>平成30年 3月 2日 16時58分  |
| 2. 場 所   | 議員協議会室  |
| 3. 出席議員  | 恒田正美、森本富夫、大西基雄、向井千尋、吉田知代、渡辺拓道   |
| 4. 会議に付した事件  | <p>議案第12号 篠山市看護師等就学資金貸与条例の一部を改正する条例</p> <p>議案第13号 篠山市介護保険条例の一部を改正する条例</p> <p>議案第14号 篠山市国民健康保険条例の一部を改正する条例</p> <p>議案第15号 篠山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例</p> <p>議案第16号 篠山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例</p> |
| <p>開会 10:15</p> <p><b>【委員会】</b></p> <p>恒田委員長 挨拶</p> <p><b>日程第1、議案第13号 篠山市介護保険条例の一部を改正する条例</b></p> <p>保健福祉部より、説明資料に基づき説明（地域福祉課）</p> <p style="text-align: center;">＜主な質疑等＞</p> <p>向井委員 第7期における介護保険料基準額について、5,020円から5,880円と第6期に比べると大きな増額になっているが、被保険者に対してどのように理解を求めていくのか。また、介護保険料については、所得に応じた12段階の掛率があるが、区分ごとの被保険者の分布について説明されたい。</p> <p>保健福祉部 12区分のうち中央の3区分に被保険者のほとんどが該当している。保険料の増額については、広報紙や市H.Pで周知するとともに、老人クラブの研修等の場で丁寧に説明していきたい。</p> <p>向井委員 保険料の支払いが滞る方や支払えなくなる方が増加傾向にあるのか。</p> <p>保健福祉部 第6期当初においては欠損があり、給付制限を行った件数は1件であったが、第7期には、10件に増えている。被保険者の中には、経済的に厳しい方もあり、相談対応や合同徴収の中で分納を提案することもある。介護保険に係るニーズ調査において、自由記述欄を設けたところ、やはり保険料が高いとの回答が多くあったことを含めて真摯に受け止める必要があると考えている。</p> |   |

- 森本副委員長 今後における要介護認定者の人数の推計について説明されたい。  
保健福祉部 計画において、要介護認定者の人数は年齢構成に基づき、5歳ごとの出現率を積み重ねて推計している。
- 森本副委員長 介護保険財政を考えると予防の取り組みが重要と考える。  
保健福祉部 第8期・9期の保険給付については、団塊の世代が75歳以上になるため、増額傾向が強まると予想している。
- 渡辺委員 第7期介護保険財政の見通しを踏まえ、基金の運用についてはどのように考えているのか。  
保健福祉部 平成30年度は収入超過により3,600万円程度を基金に積み立てると考えている。平成31年度については収支均衡、平成32年度は、支出超過となり、平成30年度に積んだ基金を投入することになると見込んでいる。
- 渡辺委員 平成31年度から基金を投入することも想定されるのではないかと。  
保健福祉部 保険料収入も伸びると見込んでおり、基金を投入することは避けられると考えている。
- 森本副委員長 第7期の介護保険料の変更はないと考えてよいのか。  
保健福祉部 基本的には据え置きであるが、介護医療院等の施設利用の給付の状況によっては、見直しも想定される。

#### 日程第2、議案第12号 篠山市看護師等就学資金貸与条例の一部を改正する条例

保健福祉部より、説明資料に基づき説明（福祉総務課）

##### <主な質疑等>

- 渡辺委員 市内病院等において理学療法士や作業療法士、言語聴覚士の需要が高まっているのか。  
保健福祉部 ささやま医療センターにおいては、「365日リハビリ」に取り組んでいることもあり確保が必要と聞いており、これらリハビリ職の職員数が増加している。ただ、職員の入れ替わりが激しく、市外出身者の定着率が低い一方で市内出身者は高いことから、特に市内出身者の職員を求めている。
- 渡辺委員 市内医療機関等において、具体的にどの程度の人数が欲しいと考えているのか。  
保健福祉部 市内医療機関等においては、理学療法士10名、作業療法士5名、言語聴覚士3名を確保したいと考えている。内訳等の詳細については、資料を提供する（資料1）
- 森本副委員長 市内高校における生徒の進路について把握しているのか。  
保健福祉部 看護師を希望する生徒は9名、理学療法士は2名、作業療法士は1名いる中、関係の学校に全員合格されている

#### 日程第3、議案第14号 篠山市国民健康保険条例の一部を改正する条例

保健福祉部より、説明資料に基づき説明（医療保険課）

<主な質疑等>

- 渡辺委員 国民健康保険の財政運営が広域化する中、事務量に変化はあるのか。  
保健福祉部 事務量の見通しは難しく、実際に業務をこなす中で把握していくことになると思う。
- 渡辺委員 職員体制についてはどうか。  
保健福祉部 事務量の変化を踏まえ考えていく必要があると考えることから現状維持でいきたい。

日程第4、議案第15号 篠山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

保健福祉部より、説明資料に基づき説明（医療保険課）

<主な質疑等>

- 渡辺委員 基金の運用についてはどのように考えているのか。  
保健福祉部 平成29年度当初においては、国保財政が広域化されるに伴い、保険料の大幅な増額も視野に入れつつ、基金を繰り入れて上昇幅を抑制することも想定していた中、平成30年1月中旬に県から納付金の連絡があり、前年度比で約1%の上昇であったことから、基金の投入はしていない。基金残高としては約5億円ある中、今後も医療費は右肩上がりになると予想しており、医療費動向を見ながら適切に運用していきたい。
- 渡辺委員 被保険者に理解いただけると考えて、基金は投入しなかったと考えてよいか。  
保健福祉部 これまでより上げ幅は小さいこと等、理解いただけると考えている。
- 渡辺委員 他の自治体の基金状況は把握しているのか。  
保健福祉部 把握していない。

日程第5、議案第16号 篠山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

保健福祉部より、説明資料に基づき説明（医療保険課）

<主な質疑等>

- 向井委員 住所地特例対象者はどの程度いるのか。また、今後、住所地特例の方が増える見込みはあるのか。  
保健福祉部 住所地特例を受けておられる方は29名であり、しばらく増える見込みはない。
- 向井委員 現時点では、国民健康保険財政への影響はあまりないと考えてよいか。  
保健福祉部 そう認識いただいて差し付けないと考える。

■表決

議案第 1 2 号 篠山市看護師等就学資金貸与条例の一部を改正する条例  
— 賛成全員で可決 —

議案第 1 3 号 篠山市介護保険条例の一部を改正する条例  
— 賛成全員で可決 —

議案第 1 4 号 篠山市国民健康保険条例の一部を改正する条例  
— 賛成全員で可決 —

議案第 1 5 号 篠山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
— 賛成全員で可決 —

議案第 1 6 号 篠山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例  
— 賛成全員で可決 —

■その他

なし

(閉会)

森本副座長 挨拶

16 : 58 閉会